



# 第7回 石川幼年美術の会・実践研究会

## 一人ひとりの子どもの心が育つ『表現』

日 時 2024年11月9日(土) 9:00~16:30

会 場 金城大学・笠間キャンパス 医療健康学部棟2階(白山市笠間町1200)

定 員 100名



よく見ると、花と茎の色を途中で変えていますね。12色のクレヨンを持ち替えながら、想像の世界で楽しんで描いている心もちが伝わってきます。(加賀市 わかたけこども園 5歳児)

主催 石川幼年美術の会

後援 公益財団法人 美育文化協会

協賛 ペんてる株式会社

協力 金城大学 金城大学短期大学部

金沢市こども未来局保育幼稚園課

かほく市健康福祉部こども家庭課

白山市健康福祉部保育こども園課

■ プログラム (おもに保育者の参加が多いことを想定しプログラムをつくっていますが、どなたでも参加できます。)

8:30~55	H211	受付 (25分)	※ 8:55 までに全員の受付が完了するようご協力ください。
9:00 9:05 ~11:05	教室	<p>開会・主催者挨拶</p> <p>《実技研修》</p> <p>「わたしと粘土の対話」 (素材：土粘土)</p> <p>講師 全国幼年美術の会 副会長 滋賀幼年美術の会 会長 黄瀬 重義先生</p> <p>(120分/片付け・手洗いなど含む)</p>	<p>〈黄瀬先生からのメッセージ〉</p> <p>土粘土は子どものやりたいことをちゃんと聞いてくれます。けれども、子どものいいなりになるわけではありません。放っておいても大事に握っていても乾いていきます。高く積むと倒れます。時間とともに固くなります。聞いてくれるけれどいいなりにならないのです。</p> <p>土粘土の方から「ここまでなら聞くよ、この方が面白いよ」と語りかけてきます。子どもと土粘土の対話のはじまりです。その対話から、子どもと土粘土とのなかよしのかたちが育まれるのです。</p>
11:05~		移動・休憩など (10分)	
11:15 ~12:45	H206 教室	<p>《講演》</p> <p>「描かされる絵からの解放と 描きたい気持ちとのあい」</p> <p>講師 全国幼年美術の会 会長 和歌山信愛大学 教授 大橋 功先生</p> <p>(90分)</p>	<p>〈大橋先生からのメッセージ〉</p> <p>幼児にとって絵は描かされるものではなく、楽しい遊びのほうです。また、言葉の発達や社会性の芽生えの中で、絵を描く遊びを通して心豊かに育っていきます。思いを伝えたり、想像の世界で心豊かに遊んだり、問題解決したりするために、絵を描くことは幼児にとって自然なことであり、また必要なものでもあるのです。</p> <p>描けないという子のためにも、その原因を考えながら、幼児の「伝えたい」「描きたい」を引き出す工夫について考えましょう。</p>
12:45 ~13:45	H206 A棟	<p>昼食・休憩</p> <p>《「世界児童画展」鑑賞》 (60分)</p>	<p>※ 美育文化協会さま・ぺんてる株式会社さまのコーナーもあります。</p> <p>短大棟で開催中の「世界児童画展」の作品をご覧ください。</p>
13:45~	H211	お楽しみ企画 (10分)	
13:55 ~16:15	教室	<p>《遊び・表現を読む会》</p> <p>「子どもの遊び・表現から保育を語る」 今回は年齢別で行ないます。</p> <p>○グループによる 「遊び・表現を読む会」(約100分)</p> <p>○「共有とまとめ」(約40分)</p> <p>(140分・休憩含む)</p>	<p>3歳児以上の担任の方は、なるべく「ねらいを持ったの活動から生まれた絵」をご持参ください。0,1,2歳児担任の方は絵にこだわらず、感触遊びに使ったものや、ものと関わっている子どもの様子などが分かる写真などでも構いません。</p> <p>保育者が想定していなかった面白い絵、どのように指導・声掛けすればよいのか、このままでよいのか迷っている絵、自信のない子どもの絵など、普段のありのままの絵をお持ちください。参加した皆さんと絵を通して語り合い共有することにより、日頃の保育を振り返ることになり、改善のヒントが見つかるかもしれません。</p>
16:15~		閉会あいさつ (5分)	※ アンケート記入、原状復帰にご協力ください。

■ 参加費 3,000円 (学生 1,000円)

■ 申し込み方法 (定員になり次第、締め切ります。)

- ・ 申込書を下記事務局まで FAX か郵送で、または同じ内容をメールでお送りください。
- ・ やむを得ず欠席の場合は、準備の都合がありますので早めにご連絡ください。

当日の持ち物 <実技研修> 粘土がついても差し支えない服装またはエプロンなど、手拭き  
<絵を読む会> クラス担任の方は、自分の関わった子どもの作品などを5枚以内  
<その他> 昼食・飲み物など (会場近くに飲食店、コンビニなどありません。飲み物の自販機は学内にあります。)

石川幼年美術の会事務局

〒924-8511 白山市笠間町1200 金城大学短期大学部 森田研究室

FAX 076-275-4316 (4/1 変更) / E-mail y-morita@kinjo.ac.jp

金城大学短期大学部 森田研究室宛

## 第7回 石川幼年美術の会・実践研究会 申込書

ふりがな 氏 名		
園 名 (または所属)		
園 (または所属) 住所など	〒	
	TEL	FAX
絵を読む会 に関して	作品などを持参する方 子どもの年齢… ( ) 歳児・作品などの枚数… ( ) 枚	
	作品を持参しない方 参加希望グループ… ( ) 歳児グループ	

※ 1人用です。複数人の場合はコピーをお願いします。 ※ 個人情報は個人情報保護法に基づき処理いたします。

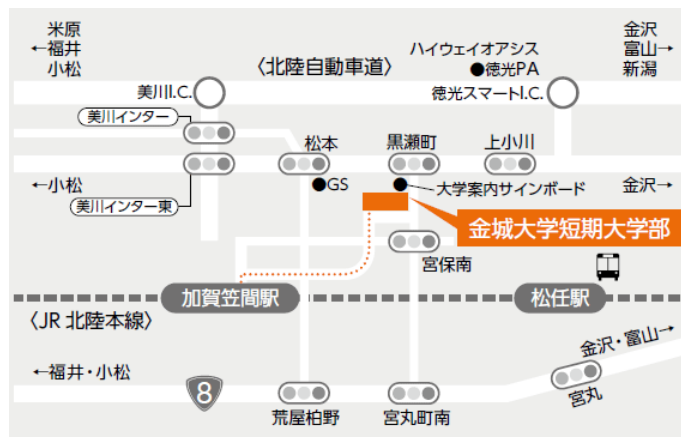
## ■ 交通機関ご案内

加賀笠間駅から 1.2 km (徒歩約 10 分)

駐車場完備

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.kinjo.ac.jp/ku/access/>



## ■ 石川幼年美術の会 Facebook ページもご覧ください！

<https://www.facebook.com/ishikawayoubi/>

### ※「幼年美術の会」とは

「子どもの美意識と成長」を願う先生方によって、1963(昭和38)年京都で設立されました。第一回の夏季大会は、滋賀県比叡山延暦寺会館で、設立翌年の1964(昭和39)年に開催され、その後、長年に亘り毎年継続して開催してまいりました。

テーマである“一人ひとりの子どもの心が育つ『表現』”を通して、豊かな人間形成のあり方を参加者全員で思索、実践し交流を積み上げていく会です。保育所保育指針、幼稚園教育要領、教育・保育要領、学習指導要領等をしっかりと踏まえ、子どもたちを中心に捉えた学びを、現場の先生方と共に大切に歩んでいきたいと考えています。